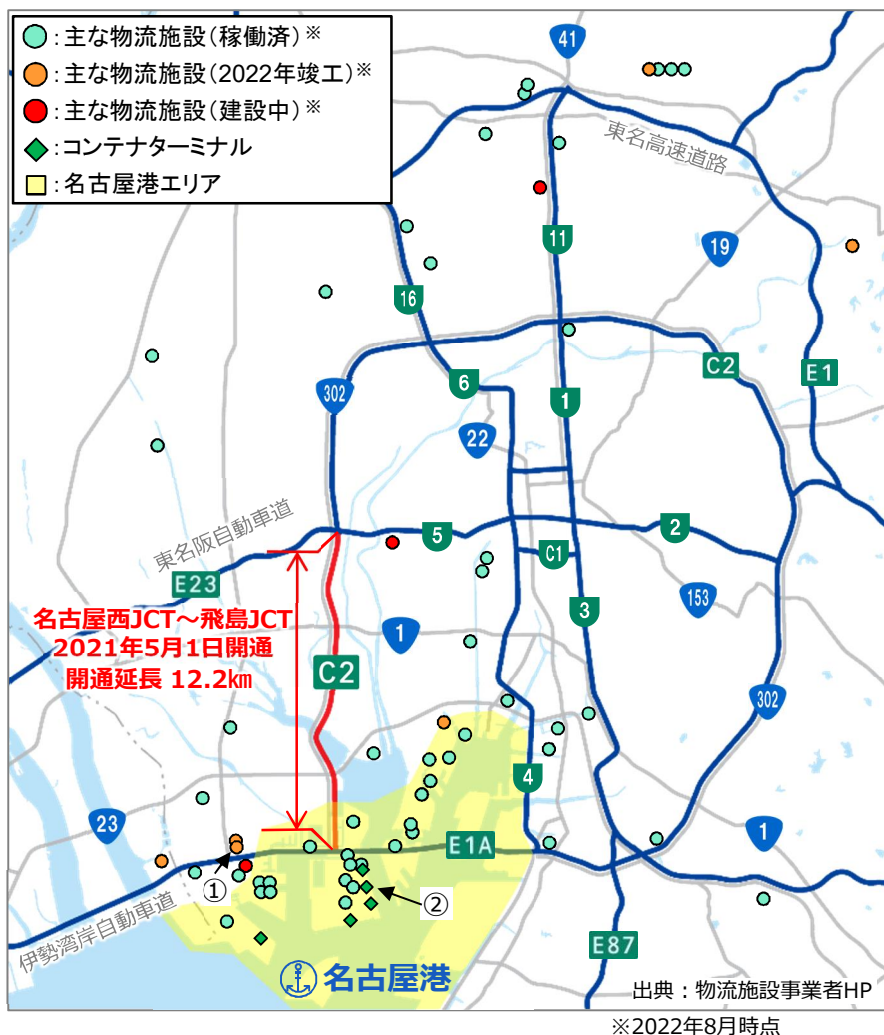


名二環沿線に大型物流施設が相次いで進出

別紙4

- 名二環が直結する名古屋港では、コンテナ貨物取扱量が約30年間で2.5倍となり、コンテナターミナルの整備が進捗しています。また、名二環沿線では、物流施設の立地件数が約20年間で4.8倍に増加しました。
- 名二環が全線でご利用いただけるようになったことや、名古屋港（飛島ふ頭）及び物流施設の整備により、企業における物流機能強化、生産性向上が期待されます。

名古屋都市圏における大手事業者の主な物流施設立地状況



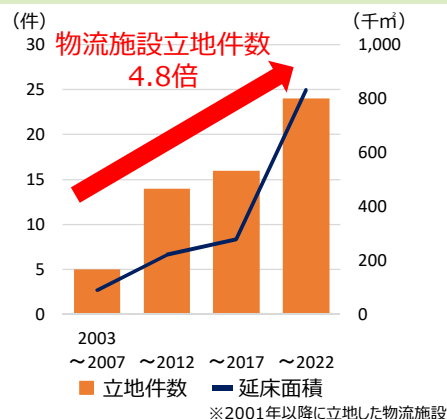
①大型物流施設

- ・施設規模
 延床面積：約280,000㎡
- ・着工：2020年11月
- ・竣工：2022年5月
- ・総事業費：約500億円

愛知県を中心とする東海地域でのマルチテナント型物流施設への需要から、弥富市に東海・北陸地域最大規模かつ24時間稼働の物流センターを新設

提供：物流施設事業者

名古屋市・弥富市・飛島村の物流施設立地状況



出典：日本立地総覧（日本立地ニュース社）
 物流施設事業者HP

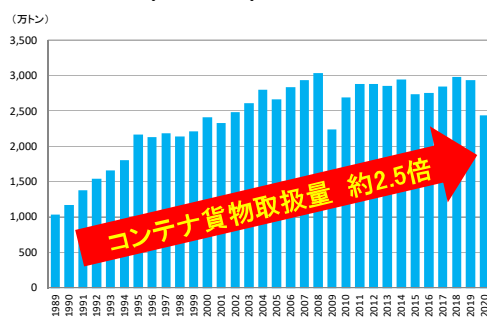
名古屋港（飛島ふ頭）の整備状況

<名古屋港(飛島ふ頭)コンテナ貨物取扱量>



整備目的：コンテナ貨物（自動車部品等）の増加による船舶の大型化に対応

出典：名古屋港 飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業
 （国土交通省港湾局）



出典：名古屋港管理組合「名古屋港統計年報」

企業の声

- 弥富市に建設中の物流施設は名古屋港への需要の高さや高速道路へのアクセス性などから立地を決めた。
- 名二環が開通したことにより、新たな南北軸のネットワークが形成され、名古屋市中心部へのアクセス性向上に期待している。



出典：ヒアリング結果 2021.10